

(別紙様式)

(A3判横)

平成29年度学校自己評価システムシート (県立深谷第一高等学校)

目指す学校像	1 広い視野を持ち自ら学び続ける意欲と態度を持った人間を育成する。 2 文化やスポーツを愛し、人と人との絆を大切に作る人間を育成する。
--------	--

重点目標	1 家庭学習を徹底し、主体的な学習習慣の確立を図る。 2 キャリア意識の向上と目標に向かって最大限の努力を促す進路指導を推進する。 3 部活動と生徒会活動をさらに活性化させる。 4 地域との連携や外部教育力の活用を通じ、教育活動をさらに充実させる。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	8名
	生徒	8名
	事務局(教職員)	7名

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	【現状】 多くの生徒が授業に真面目に丁寧に取り組んでおり、さらに意欲的に学習に取り組む授業への工夫改善が求められる。 【課題】 自学自習の習慣を確立させ、学習内容を身に付けさせるため、家庭学習(自己学習時間)の意欲を高める指導が必要である。	学習習慣の確立	①スタディーサポートの有効活用 ②年次研の研究授業や授業公開週間の実施による授業改善・指導力の向上 ③県指定「課題解決力」向上チャレンジプラン事業の有効活用	①学習状況調査(スタディーサポート)に基づき、生徒の授業理解度の向上 ②年次研や授業公開での授業研究と研修会の実施 ③指定事業の計画策定及び実施	①授業アンケート、チャイム着席、前向きな授業参加が定着 ②教職員校内研修会「大学入試改革」 ③ビブリオバトル校内予選を実施・本校代表県大会準優勝 授業公開週間期間の来校者37名	A	【課題】 週10時間以上の学習に取り組ませる。 課題解決力向上チャレンジプランへの取組を教育活動全体に活用する。 【改善策】 外部講師等による講演会を企画し、生徒の意識高揚を図る。 自習室の活用を指導し学習意識を高める。
		自学自習の定着	①教科・学年間の連携を深め、予習・復習の徹底と家庭学習時間を確保 ②自習室の有効活用	①週10時間以上の学習者の増加 ②自習室の有効活用の推進と活用状況調査の実施	①スタディサポート、家庭学習時間年々微増 一般受験クラスの家庭学習時間が多い ②新設された自習室の活用PRに努めた	B	
2	【現状】 スタディーサポートの活用など生徒の多様な進路希望に対応するためのきめ細やかな指導を行っている。 【課題】 進路指導計画の周知と補習日の確保及び将来を見据えた堅実な進路選択の促しと、より高い目標への挑戦に向けた意欲の喚起が必要である。	キャリア教育の推進	①三年間を見通したキャリア教育の実施 ②ガイダンス機能の充実	①スタディーサポートの活用とともにキャリア教育の視点で進路指導計画策定、進路指導の実施 ②分野別ガイダンスや進路体験発表会等の企画・実施	①進路指導計画を予定通り実施 ②進路ガイダンス9回実施	A	【課題】 3年間を見通した進路指導計画を周知徹底する。 【改善策】 外部教育機関との連携を推進し、大学入試改革等を含め進路情報を保護者向けに発信する。
		生徒の進路への関心・意欲の向上	①個別の進路相談、面接指導の充実 ②一般受験対応クラスの運営の充実 ③外部教育力の活用	①進路相談、面接指導の充実による現役進路決定率の向上 ②一般受験対応クラスの実績の向上 ③外部講師による講演会等の複数実施	①現役進路決定者数 240名 進学補習34講座開講 スタディサポート結果面談を充実 ②大学入試センター試験、出願者数69名(7名増) ③外部講師講演会等8回実施	B	
3	【現状】 集団や社会の一員としての自覚と責任感を深め、望ましい人間関係を形成できるよう部活動と学校行事等の活性化を図っている。 【課題】 部活動や生徒会活動の活性化及びさらなる規範意識の向上を図る必要がある。	部活動等の活性化	①部活指導の一層の充実 ②トレーニング室の安全有効活用 ③学校行事の充実と発展	①1年生全員加入と定着率の増加 ②トレーニング室の活用状況 ③生徒による文化祭等の自主的運営状況	①部活動加入率93.4% 運動部文化部共に全国大会出場 ②トレーニング室を計画的に使用 ③ときわ樹祭来校者数2500名超	A	【課題】 自転車通学者の事故防止とマナー向上に取り組む。 【改善策】 生活全般の安全意識を高め、事故防止及びマナー向上を徹底する。
		規律ある態度の育成	①組織的な生活ルールとマナーの指導の徹底 ②安全指導の徹底	①遅刻指導対象者「0」服装等違反者「0」 ②登下校中の自転車事故の減少	①生徒会のあいさつ運動実施 ②登校指導、安全指導を実施	B	
4	【現状】 広報活動の充実により、地域からの評価は高くなるともに保護者・地域・中学生からの本校に対する期待は非常に大きくなっている。 【課題】 ホームページをさらに充実させ本校からの情報発信力を高めるとともに地域との交流を促進し本校への理解を深める必要がある。	広報活動と生徒募集の充実	①校外の説明会の充実 ②ホームページの更新や、最新の教育活動内容(学校行事、部活動等)の発信 ③保護者への情報提供	①学校説明会・個別相談会参加者の増加 ②ホームページ更新年間延べ250回とアクセス数の増加 ③「深一お知らせメール」配信50回以上	①学校説明会参加者概ね1~2割増 中学校訪問地域を拡大 本校への進学希望者1.44倍 ②ホームページ更新のべ350回超 ③おしらせメール配信35回	A	【課題】 本校教育活動を地域社会へさらに周知する。 【改善策】 保護者アンケートを実施する。
		地域との交流及び内外の美化の促進	①積極的な地域活動への参加 ②PTA・生徒会主導による校内外の美化活動の推進 ③学校関係者との連携強化	①地元小学校等との交流や深谷市関連行事への積極的参加 ②生徒、PTAによる美化活動の実施状況 ③評価懇話会等の活性化	①常盤小との交流(学習支援・交通安全) 幡羅中との交流(部活指導) 深谷花フェスタ本校会場70名来校 ②PTA・家庭部JRC部校内植栽2回実施。学校周辺美化・活動交通安全キャンペーン ③ワールドカフェ方式導入	A	

学校関係者評価
実施日 平成30年2月14日
学校関係者からの意見・要望・評価等
懇話会の際に、ワールドカフェでは生徒が自らの考えを堂々と述べていた。学習活動の成果だと思う。ビブリオバトルは素晴らしい成果を上げた。自習室での進学指導や進学補講を定期的実施してはどうか。一步上を目指す進路実現のために、家庭学習時間の更なる増加が必要である。
懇話会に参加した生徒が礼儀正しくさわやかで自分の将来も見据えていた。進路先だけではなく、それぞれの人生で輝く人材育成を期待する。外部講師による講演会やスタディサポートを有効に使った面談等の成果が出てきている。
多くの生徒を抱える学校には厳しいかもしれないが、地域の人々や子供達はよく見ている。自転車マナーに関してはよい手本になってほしい。部活加入率93.4%が素晴らしく日々の部活が盛んな様子がよくわかる。地域の住民にもよくあいさつもしてくれる。スマホの扱いも使用時間やマナーを守ることが重要である。
学校からの情報発信はHPをはじめメール等で発信され、日々の活動の様子がよくわかる。
地域活動への貢献は大きく素晴らしい。中学生のみならず地域社会の評判も大変よい。